

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年 1月

事業所名: ヴィストカレッジ西金沢駅前

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	2		活動に応じて広い部屋や個別対応で使用できる部屋を使い分けている。	
	2 職員の配置数は適切である	1	4	1	保育士・心理士等、有資格スタッフを配置している。 曜日によって職員の人数にばらつきがある。	各スタッフの業務で負担に感じていること等は、ヒアリングを行い、スタッフが働きやすい仕組みづくりを行います。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	3	1	ワーク用品を置くスペースが少ない。	定期的に整理整頓を行う等、限られたスペースを有効活用できるようにします。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1		各職員に業務を担ってもらっている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6				
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6				
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	3	2	外部評価は行っていない。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	2		新人向けの職員研修(特性理解・支援方法等)を実施している。 研修に参加できる時間を確保する。	内部研修だけでなく外部研修の機会を積極的に設けていき、職員の資質向上を目指します。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6				
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2		年代に応じたアセスメントシートを使用している。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	6				
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	2		児童の特性に応じて大まかな活動をパターン化し、中身をステップアップさせています。	各スタッフが支援内容の引き出しを増やすことができるよう、社内研修や他事業所との意見交換の場を設けていきます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	1		利用曜日で取り組み内容を変え、各課題に向けて取り組んでいる。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			個別療育、集団療育、それぞれの場面に応じた支援内容を計画書に記載している。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	2		朝礼時に各児童への活動内容を共有している。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1		終礼時に、各児童の様子を共有を行っている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		1	入るスタッフによって記録の残し方に差がある。	記録の残し方についての研修を定期的に行い、有効的な記録の残し方を確認していきます。また、記録だけではなく、スタッフ間で口頭でのやり取りなどの情報共有を行います。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	1			
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	1		普段ガイドラインを目にすることが少ない。	ガイドラインに関しては定期的に見直しなど、各スタッフが閲覧、意識できるようにします。	
関係 機関 等	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			児童発達支援管理責任者に加えて、対象児童によく関わっている職員も参加している。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年 1月

事業所名:ヴィストカレッジ西金沢駅前

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者との連携	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	3		ご要望のあるご家庭に関しては、学校との関係機関連携を図っている。	
関係機関や保護者との連携	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		2	4	医療的ケア時の受け入れは行っていない。	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	3			
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	1			
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	4	1		必要に応じてセンター等とも連携を図り、多方面からの視点を得ることを目指します。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		2	4	なかなか機会が無い。	
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	1	2		
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6				
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	3	1		
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			契約時に必ず説明を行なっている。また事業所内の壁に最新の情報を張り出している。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6				
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2			
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6				
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1	1	活動記録が止まっているため、再開する	活動記録に関しては、徐々に再開する予定となっております。
	35 個人情報に十分注意している	6			個人名が書かれた書類は鍵付きロッカーに保管している。	
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6				
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	1	2		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年 1月

事業所名:ヴィストカレッジ西金沢駅前

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1			
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6				
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6				
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	1			
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2	1	医師の確認はとっていないが、保護者と本人に必ず確認を取っている	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6				